



三越伊勢丹グループ労働組合 名古屋三越支部速報

2025年5月27日に開催した労使協議会の内容をお知らせします

会社:	安藤 坂(議事進行) 河合 喜多村
組合:	中住 松井 牛田 近藤

賞与要求を労働組合より実施 →会社より要求内容どおりの回答 をいただきました



労使協議会概要

- 2025年5月27日(火)に2025年度第1回労使協議会をおこないました。
- 議題は労働組合より2025年6月支給賞与に関する賃金要求をおこないました。
- 2025年6月支給賞与要求は2024年春の交渉時(2024年2月頃)において、会社と確認したベースとなる賞与支給表を元に業績評価指標を踏まえ、今回要求をおこないました。
- 中位評価における具体的な支給ヵ月としては社員・メイト社員は2.78ヵ月(※2.88ヵ月)とベースとなる賞与支給表に加算し要求を、エルダースタッフFⅠ・FⅡ・FⅢは1.25ヵ月、エルダースタッフPにおいては0.95ヵ月とベースとなる賞与支給表通りを要求しました。
- ※ステージA・ステージB役割①～③の中位評価における支給ヵ月数
- 上記内容に関しては、2024年5月中旬から5月下旬にかけて労働組合機関会議や動画配信を中心とした限定メンバーズVOICEにより、メンバーに説明をおこない要求案を固めてきました。(※詳細は右記二次元コードをご参照ください。)
- 上記要求に対して即日会社より満額回答をいただきました。
- 以下その際の会社回答と労働組合からのコメントを掲載いたします。

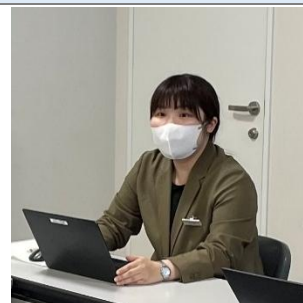
▼2025年6月支給賞与要求内容



リンク先は労働組合 HP です。
ID: 55+社員番号 8ケタ
PW: 生年月日 8ケタ

労使協議会を終えて労働組合コメント 支部執行委員長 中住萌里さん

- 2025年6月賞与要求に対して満額のご回答をいただき、誠にありがとうございます。
- この間、動画配信にてメンバーズVOICEをおこない、合意形成をはかってまいりました。
- 今回の賞与に関しては、「メンバーの頑張りへの還元は今後も協議すること、また2025年度も昨年以上に働き方を変えて全員参加で予算目標を達成する必要がある」、そのようなメッセージが強く入っている旨をメンバーへ伝えてきました。
- メンバーからも「頑張りが反映されたように感じ、モチベーションが上がる。2025年度も予算達成に向け励みたい。」というような前向きな声を多く頂戴しております。
- もちろんグループ他社などと比較して、さらなる水準向上を要望する声も継続していただいているため引き続き協議をお願いします。
- 最後になりますが、物価高騰にはじまる社会環境の大きな変化、また内部環境としては、業務の見直し・削減を含む働き方の変化のなかメンバーは日々奮闘しています。
- 労働組合としては、今まで以上に働き方の変化が求められる環境でのメンバーの声を丁寧に聞き、メンバーがさらに一丸となって名古屋三越を盛り立てられる一助となるよう、会社と協力し取り組みを進めてまいります。



労使協議会を終えて総括コメント 総務統括部長 安藤朋彦さん

- 今回の賞与については、昨年と比較して高い水準での還元が実行できたと捉えています。
- 業績を向上させて賞与に還元することは、今まで労使ともに目指したことであり、今回はある一定の規模でそれを果たすことができたという点では、ともに同じ達成感があったと思います。
- 新型コロナウイルス感染症禍は4期連続の赤字という大変厳しい期間でしたが、この間に販管費を見直し、特に固定費の圧縮に努めてきました。
- つまり売上が回復した際に利益が大きくなる体質に構造を変えてきたことが、功を奏したと考えています。
- これは何よりも、従業員の皆様の協力と頑張りがあったからこそその成果だと考えており、感謝を申し上げます。
- 2025年度は先行きの不透明さが際立っており、予断を許さない状況であるのは皆様もご承知かと思えます。
- 引き続き従業員全員で力を合わせて、また労使協力のもと2025年度も目標達成に向け取り組んでいきましょう。

